

岩手県ユネスコ連絡協議会創立70周年記念式典(5月27日)

遠野ユネスコ協会

平和・教育活動に長年尽力

同式典が5月27日にサンセール盛岡で開催され、遠野ユネスコ協会が特別表彰を受賞しました。同会は、2019年東北ブロックユネスコ活動研究大会岩手大会の開催地として企画・運営に尽力。市内高校生が国際理解を深める機会を図るなど、長年にわたる平和・教育活動が評価されました。新里会長は、「創設以来初めての受賞で大変名誉なこと。今後も子どもたちへの平和教育を展開していきたい」と目標を語りました。



写真左から_安部全一副会長、新里佳子会長、遠山豊顧問

人命救助に伴う感謝状贈呈式(6月20日)

迅速な救助活動 を展開

菊池 孝幸さん
(62歳、小友町)



6月20日、菊池さんに市消防本部の千田消防長から感謝状が贈されました。5月4日、小友町内で男性の乗ったトラクターが川に転落する事故が発生。近隣住民から事故の連絡を受け駆けつけました。別のトラクターにワイヤーを取り付け、事故車両を持ち上げ男性を救出。救急隊到着前に男性の安全を確保し、重症化を防ぎました。菊池さんは、「水に長く浸かっていると命が危ないと思った。大したことはしていないが、大事に至らなくて良かった」と振り返りました。

第46回消防救助技術岩手県大会(6月28日)

ロープ応用登はん県1位

同大会が6月28日、県消防学校(矢巾町)を会場に開催されました。佐々木・伊五澤消防士が2人1組で15ドルのロープを素早く登る、ロープ応用登はんの部に出場。11.8秒を記録し優勝しました。2人は8月25日に開かれる全国大会に出場します。佐々木消防士は、「全国大会でも訓練の成果を発揮したい」と意欲を燃やし、伊五澤消防士は、「これからも市民の安全と安心を守る技術を磨きたい」と力強く語りました。



市消防本部 遠野消防署
佐々木 丸太 消防士 **伊五澤 弘樹 消防士**

おわび

7月号のキラッと、遠野人。に掲載した内容に誤りがありました。下記のとおり訂正をおわびします。

誤) 【剣道】女子個人=遠野(高橋明季)
正) 【剣道】女子個人=遠野(高橋明李)

「キラッと、遠野人。」情報を寄せください

①市内在住、または市内に通学・通勤する人②市外の学校に在籍する本市出身者——で、各種大会やコンクールなどでおおむね△県1位(最優秀賞)以上△全国入賞——の成績を残した人の情報を寄せください。

■問い合わせ 市経営企画課(☎62-2111内線215)

第52回岩手県乾しいたけ品評会(6月8日)

天白どんこの部 最優秀賞

江川 幸男さん
(74歳、附馬牛町)



同品評会審査が6月8日、岩手県林業技術センター(矢巾町)で開催され、江川さんが栽培した乾しいたけが天白どんこの部で最優秀賞を受賞しました。天白どんこは肉厚で弾力のある食感が特徴。審査では、△かさの丸み△亀裂の入り具合△光沢感——などが高く評価されました。原木しいたけは温度・湿度の管理が難しく、栽培環境に細心の注意を払ったと苦労を振り返ります。江川さんは、「大変光栄なことで、長年の苦労が報われた。これからも市内の生産者と切磋琢磨し、良質なしいたげづくりに取り組みたい」と喜びをかみしめました。

岩手ADC Competition&Award2022(5月13日)

県内デザイン 作品の頂点に

阿部 拓也さん
(40歳、早瀬町)



同審査会が5月13日、アイーナ(盛岡市)で開催され、阿部さんが製作した「サンホビー のれん」がグランプリを受賞。応募総数276点の頂点に立ちました。白地に赤く「おもちゃ」や「もけい」と記されたシンプルなれん。商店街の雰囲気にマッチしていると高評価を得ました。一目でおもちゃ屋さんと分かるデザインを思案。創業時から使用する「サンホビー」の字体を基に、新たなロゴを作りました。阿部さんは、「愛のあるデザインと評価してもらえて嬉しい。のれんを見にお店へ足を運ぶ人もいて、にぎわいに貢献できて何よりです」と笑顔で語りました。

岩手県学校農業クラブ連盟大会(6月15日~30日)

情報処理・家畜審査競技2種目で最優秀賞

同大会情報処理競技が6月15日に盛岡農業高校で開催され、千田さんが最優秀賞に輝きました。出題テーマの情報をウェブで収集。制限時間内に、△グラフ△表計算△プレゼンテーション——などを活用し1枚の資料にまとめました。グラフ作成に力を入れたことが受賞につながったと振り返ります。千田さんは、「パソコンは苦手だけれど練習を頑張った。最優秀賞を取れて嬉しい」と笑顔で話しました。

菊池さんは、6月27日に中央家畜市場で開かれた家畜審査競技(肉用牛の部)に出場。最優秀賞を受賞しました。牛4頭を見て触れて順位付けする、良い牛の目利きを競う競技。授業や練習で、△立ち姿が真っすぐ△太りすぎていない△背が高い——など良い牛の特徴を発見し、本番も迷わず正答を導きました。菊池さんは、「最優秀賞を取れるとは思わなかった。嬉しさと驚きでいっぱい」と喜びました。



遠野緑峰高校 生産技術科

情報処理競技
最優秀賞

千田 乙華さん
(生活文化コース2年)

家畜審査競技(肉用牛の部)
最優秀賞

菊池 憲土さん
(生産科学コース2年)